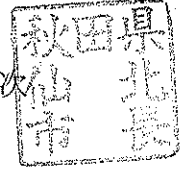




平成19年5月 8日

国土交通省道路局長 様

仙北市長 石 黒 直 次



中期的な計画の策定にあたっての意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付け、国道企第114号で依頼ありました標記について、別添のとおり回答します。

重点化を進める上で特に優先度の高い政策

わが国においては、戦後、地方から都市部への人的資源を始めとする多くの資源が流出し、その結果、高度経済成長の中で、社会資本の整備や産業生産基盤が確立され、首都圏を中心とする都市部の繁栄がもたらされた。

こうした中で、人口、経済、産業等の一極集中化が進み、都市部では、さらに高度なインフラ整備が図られており、反面、地方においては、道路整備をはじめとする社会資本整備が大幅に遅れ、人口減少と相俟って急速な少子高齢化が進み、主産業であった第一次産業の低迷をもたらし、地域の活力が失われ疲弊している現状である。

このような地域間格差を打破し、都市と地方の均衡ある発展を図るためには、地域の道路網整備が不可欠であり、従来のような交通量だけの基準で必要性を図るのではなく、その地域の将来像を見据え、真に必要とされる道路計画を樹立したうえで整備を進める必要があり、高齢者が安心して暮らせるまちづくり、若者が生き生きとして働ける地域づくりのために、道路整備はもっとも優先度の高い政策である。

特に高規格幹線道路から地先までのアクセスを確保する市町村道まで、一体として機能する道路ネットワークの整備が望まれており、これらの整備により、効率的除排雪計画の確立や医療機関の連携、防災体制の整備等、積雪寒冷地域においても住民が安全・安心して暮らすことができる施策の展開が可能となると思われる。

また、道路ネットワークの整備が進むことにより、地域間格差の緩和が図られ、観光資源を有する多くの地域の広域的連携により観光産業の振興をはじめとした地方活力の育成に寄与するとともに、物流運搬システムの再構築が考えられ、国土の均衡ある有効活用、地域経済の活性化に大きく役立つものと期待される場所である。